





09 OOP - その3



Created by GT F Last updated 2019-08-15

- 抽象メソッド
- 抽象クラス
- 抽象クラスを継承する
- インターフェース
- インターフェース UML 表現
- 実装方法
- インプリメント
- 抽象クラス&インターフェースの利用方法
 - 一般的の実装
 - 内部クラスで実装
 - 匿名クラス
 - 。 ラムダ式
- 列挙型
 - 。 列挙型とSwitch
 - 列挙型をループする
 - 。 列挙型とString
 - フィールド&メソッド
 - 現場で列挙型の利用パターン
- 質問集

抽象メソッド

修飾子 abstract を宣言したメソッドは抽象メソッドになります。

- 1. 抽象的メソッドはキーワード abstract を付けること。
- 2. 抽象的メソッドは実体なし。
- 3. 抽象的メソッドは必ず抽象クラス又インターフェースを所属する。

抽象的メソッド定義

1 public abstract void hello();

抽象クラス

修飾子 abstract を宣言したクラスは抽象クラスになります。同様に、 abstract が付けられたメソッ ドは抽象的メソッドを呼びます。抽象的なメソッドは自体ない、抽象的なクラスはインスタンス化

できません。抽象メソッド所属(しょぞく)するクラスは必ず抽象クラスであること。

```
1 public abstract class BasePet {
2 public abstract void hello(): // 抽象メソッド
3 public void eat() {}: // 普通のメソッド
4 }
```

※現場に抽象クラスは一般的に頭文字をBaseを付けること。

抽象クラスは、それ自体を利用することはなく、単独では意味ありません。継承しなければ、利用できません。

・ 抽象クラスを利用する場合、継承する必要があります。

🛕 抽象メソッドは自体がないです。

抽象クラスを継承する

抽象クラスを継承する場合、下位クラスは必ず抽象メソッドを実現(メソッドの自体を実装する) しなければいけません。

※抽象的クラスを抽象的クラス継承する場合、メソッドを実現しなくてもいいです。

インターフェース

インスタンスは特殊のクラスの1つで、属性やメソッドを**宣言**は持ちますが、**実装は持ちません**。 インスタンスの宣言はキーワード**interface**を使用します。interfaceにてメソッドはすべて public であること。アクセス制御を省略可能です。インターフェースは**多重継承**ができます。インターフェースの別名は**完全抽象クラス**です。

インターフェース UML 表現

UMLの標準的な**クラスの表記法**によ <<interface>>> というキーワードを付けることです。以下はInterface記述の例を示しています。

```
<<Interface>>
Interface
+ field1: Type
+ field2: Type
+ method1(Type): Type
+ method2(Type, Type): Type
```

実装方法

キーワードは「interface」を使用して、インターフェースを定義する。

```
public interface IPet {
   public abstract void hello();
}
```

※多くの現場では、インターフェースクラスの先頭文字は大文字のIを付けます。

インターフェースはクラスの定義を似ていますか、ただ、異なる所は、すべてのメソッドは public と abstract (抽象的)に設定必要があります。

・ インターフェースに定義したメソッドは public と abstract の為、省略可能です。

例:public&abstractを省略する場合

```
1 public interface IPet {
2  // public abstract 省略可能
3  void hello();
4 }
```

🛕 普通のクラスに、publicを省略した場合、privateをディフォルトに付けます。

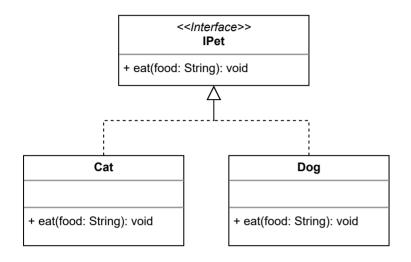
インプリメント

キーワード implements を使用して、インターフェースをインプリメントします。インターフェース はインプリメントする場合、具象的のクラスは必ずすべてのメソッドの**本体**を実装しなければならない。

```
1 // Cat.java
2 public class Cat implements IPet {
3    @Override
4    public void hello() {
5        System. out. println("=\nu-");
6    }
```

```
7 }
8 // Dog.java
9 public class Dog implements IPet {
10 @Override
11 public void hello() {
12 System. out. println("ワン");
13 }
14 }
```

インターフェースをインプリメントするUML表現は



▲ 一つのクラスは複数のインスタンスをインプリメントできます。

抽象クラス&インターフェースの利用方法

抽象的クラスとインターフェースの利用する場合、継承又はインプリメント必要です。以下4つの 利用方法があります。

- 1. 一般的の実装
- 2. 内部クラスで実装
- 3. 匿名クラス
- 4. ラムダ式

一般的の実装

全文に記述した通り、クラスを新規にして、メソッドを実装します。以下通り3つのクラスを作成しました。

```
1 // IPet.java
2 public interface IPet {
3 // public abstract 省略可能
```

```
void hello();
4
 5
   }
 6 // Cat.java
7
    public class Cat implements IPet {
        @Override
8
9
        public void hello() {
            System. out. println("=\forall -");
10
11
12
    }
    // Kicker.java
13
    public class Kicker {
14
        public static void main(String...args) {
15
            IPet cat = new Cat();
16
17
            cat.hello();
18
       }
19 }
```

内部クラスで実装

いちいちクラスを新規作成は面倒の為、内部クラスで実装可能です。以下場合2つクラウを作成しました。

```
1 // IPet.java
    public interface IPet {
3
        void hello();
4
 5
   // Kicker.java
   public class Kicker {
6
7
       // 内部クラス
        public static class Cat implements IPet {
8
9
            @Override
            public void hello() {
10
               System. out. println("= \forall -");
11
12
13
14
        public static void main(String...args) {
            IPet cat = new Cat();
15
16
            cat.hello();
17
        }
18 }
```

匿名クラス

抽象的クラスとインターフェースは匿名で可能。

```
1 // IPet.java
2 public interface IPet {
3    void hello();
4 }
5 // Kicker.java
6 public class Kicker {
```

```
7
        public static void main(String...args) {
8
            // 匿名クラス
9
            IPet cat = new IPet() {
10
               @Override
11
               public void hello() {
12
                   System. out. println("=\forall-");
13
14
          };
           cat.hello();
15
      }
16
17 }
```

ラムダ式

更に、匿名クラスを簡化する場合、ラムダ(**A**)式で記述可能です。ラムダ式は Java1.8 (Java8) の新し機能である。構文は

```
1 (実装するメソッドの引数) -> {
2 // 処理内容
3 };
```

以下は実装の一例:

```
1 // IPet.java
2 public interface IPet {
3
      void hello();
4 }
5 // Kicker.java
6 public class Kicker {
7
       public static void main(String...args) {
8
           // ラムダ式
9
          IPet cat = () -> {
10
              System. out. println("= \forall -");
11
          };
12
         cat.hello();
13
      }
14 }
```

ラムダ式は強制的に使用しなくてもいいです。なお、IDEの自動コデイン機能を利用して、内部クラスを自動的にラムダ式変更可能。

列举型

列挙型は特定の値のみを持つ型で、プログラマが任意に定義できます。キーワード enum を利用して 定義します。

```
1 // 性別
2 public enum SEX {
3 MAIL, // 男性
4 FEMAIL // 女性
5 }
```

列挙型の追加方法は「列挙型名.列挙した値」とします。

```
1 SEX sex = SEX. MAIL; // 男性
```

列挙型とSwitch

列挙型はSwitch文で利用可能です。

```
1
    public class Kicker {
 2
 3
        public static void main(String... args) {
 4
            SEX sex = SEX.FEMALE;
 5
            switch (sex) {
 6
                case MALE:
 7
                    System. out. println("男性");
8
                    break;
9
                case FEMALE:
                    System. out. println("女性");
10
                    break;
11
12
                default:
                    throw new AssertionError(sex.name());
13
           }
14
15
16
```

列挙型をループする

列挙型のクラスに静的なメソッド values() を持っています。該当メソッドはEnumに定義された選択肢を返します。

```
public class Kicker {

public static void main(String... args) {
    for (SEX s : SEX. values()) {
        System. out. println(s);
    }
}
```

列挙型とString

列挙型の名称を取得するメソッド: name()

```
1 public static void main(String... args) {
2 for (SEX s : SEX. values()) {
3 System. out. println(s. name()); //Enumの名称を取得する
4 }
5 }
```

Stringから列挙型を変更するメソッド: valueOf(String value)

```
1 public static void main(String... args) {
2 SEX s = SEX.valueOf("MAIL"); // 名称からEnum値を変換する
3 System.out.println(s.name());
4 }
```

フィールド&メソッド

列挙型にもフィールド、メソッド、コンストラクタを定義可能です。

```
1 // SEX. java
    public enum SEX {
3
       MALE("1", "男性"),
4
       FEMALE("0", "女性")
 5
       ; // 注意:ここにセミコロン「;」
 6
7
      // 属性
8
       final String code;
9
       final String description;
10
11
       // コンストラクタ (列挙型のコンストラクタは必ずprivate)
       SEX(String code, String description) {
12
13
           this.code = code;
14
           this.description = description;
15
16
       // メソッド
17
       public String getDescription() {
18
           return description;
19
       }
20 }
```

▲ 列挙型は final である、これ以下の継承はできないが、他のクラスを継承し、インターフェースをインプリメントする可能です。

現場で列挙型の利用パターン

現場で列挙型はコード値として使用する場面が多いです。

```
1 // SEX.java
2 public enum SEX {
3
        MALE("1", "男性"),
4
        FEMALE("0", "女性");
5
        final String code;
6
        final String description;
7
8
        SEX(String code, String description) {
9
            this.code = code;
10
            this. description = description;
11
```

```
12
        // コード値からEnum値を変換する
13
        public static SEX getEnum(String code) {
14
            for (SEX s : SEX. values()) {
                if (s. code. equals (code)) {
15
16
                    return s;
17
18
            return null;
19
        }
20
21
22
    // Kicker.java
23
    public class Kicker {
        public static void main(String...args) {
24
            String code = "1";
25
            System.out.println(SEX.getEnum(code).description); // 男性
26
27
28
   }
```

質問集

質問1:以下ソースにラムダ式の使う場所を解釈してください。

```
import java.awt.event.ActionEvent;
 2
    import java.awt.event.ActionListener;
    import javax.swing.JButton;
    import javax.swing.JFrame;
4
 5
    public class GUISample {
6
 7
8
        public static void main(String[] args) {
9
            JFrame window = new JFrame("DCNet Java 教育");
10
            window.setDefaultCloseOperation(JFrame.EXIT_ON_CLOSE);
11
            window.setSize(800, 600);
            JButton btn = new JButton("hello world");
12
13
            window.getContentPane().add(btn);
14
            btn. addActionListener ((ActionEvent e) -> {
15
                System. out. println("ボタンクリックしました。");
16
17
            });
18
19
            window.setVisible(true);
20
21 }
```

質問2:以下ソースに匿名クラスの利用する行は?

```
9
         }.start();
     }
10
11 }
```

لك Like Be the first to like this

No labels 🍨

